

令和6年度 第9回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 当事者活動支援部会 議事録	
日 時	令和7年1月8日(水) 17:30~18:30
開催場所	地域活動ホームゆめ ボランティアルーム
出席者	8名
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議 題	<p>1. 初夢まつりへの参加について 具体的な内容とタイムスケジュールについて ※別紙あり</p> <p>○内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害に関するお知らせ、シンボルマークの展示 ・筆談ボードの販売 ・指文字の体験 ・災害時のコミュニケーションボード展示 ・ポートレート&メッセージ <p>2.. 次年度計画について (出席者から出た意見、課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者団体参加者の高齢化もあり、新規参加者はなかなか募りづらい状況 生活支援センターのピア活動参加者に関心を示している人がいるので、今後、部会に誘う可能性あり。 ・当事者を含めた座談会を行いたい。 ・他部会(相談、こども、精神net)と何らかのコラボができないか? 内容によっては支援者視点が強くなりすぎてしまい、部会の趣旨に沿わない可能性もある ・初夢まつり や かるがもフェス への出展など啓発の機会を増やす。 ・社協の当事者部会 と 自立協の当事者部会 の違いがわからない。 ⇒大きくは“家族会”が始まりか“地活利用者の居場所作り”が始まりか、の違い。それを踏まえて、部会として今後どのような活動を目指すか? ・現在、「どんな活動をしているか?」と説明を求められても上手く活動内容を説明できない状態にあるのでは。 ・地域に住む障害当事者に関する広報、啓発が上手くできていない現状 ⇒その背景に部会として福祉教育(毎年12月~1月)への関わりがなくなった事も一因として挙げられる。精神、発達障害を小学生に理解してもらうには難しい。 ・部会の正式名称をどうするか?(当事者部会 or 当事者活動支援部会 or その他) ⇒“自分たちで何とかする(団体を作る)”から“サービスに当てはめて何とかする”に考え方が変わった現代に合わせて、部会としてどんな活動が出来るか? ・横の繋がりが薄れたことにより保護者のメンタルサポートが広く課題となっている。だが、その解消手段として当事者団体に入り、悩みを共有することは拒む傾向にある。更に、新規参加者がいたとしても主体的な参加(運営側に入る事)は

拒む傾向。必要な情報はネットで集め、単発のイベント参加で満足。とにかく横の繋がりは求めない保護者が多くなった。

- 部会内で茶話会をやりたい

部会外で参加を呼び掛けるとすれば、ハートの会 など。

- 外部から何らかオーダーがあれば部会の活動はしやすい

- “当事者が楽しめる祭り・イベント”を企画できないか？広く言えば、障害を問わずみんなが楽しめる企画はないか？

(次年度開催日程)

隔月開催に変更予定 開催月：4月、6月、8月、10月、1月、2月

次回：2月12日(水) 17:30～ 場所：ゆめ